

平成28年度事業報告

平成28年度は、適正就業に抵触する内容の事業の見直しを実施し、契約終了したものもありましたが、事業実績は2億9千437万円と前年度実績に対しまして766万円、2.54%減にとどまりました。

事業実績につきましては当初の目標額であった2億9千万円より約437万円上回る結果となりました。会員数につきましては、未就業会員の掘り起しを実施し、在籍の意向確認をしたことにより、多くの退会会員がでましたが、ポスター・チラシによる入会促進・会員の入会勧誘活動及び新聞折込・年間を通じ市内循環バスへの広告掲載など、入会を促す内容を伴ったセンターPRを着実に実施してまいりました。依然会員数は減少傾向にありますが、今後も引き続き魅力あるセンターの事業づくりや入会活動を継続し、減少傾向に歯止めをかけ、増員させていくことがセンター運営の基盤と位置づけ、最優先課題と考えております。このような状況の中で、4月1日に事業所開設した派遣事業につきましては、企業・団体へのダイレクトメールの送付や役員による訪問、会員の意向調査などいろいろな側面より実績を上げるための活動をしてまいりましたが、今年度は実績を上げることができませんでした。引き続き次年度に向け可能な事業の開拓や単発作業なども視野に入れ、取り組んでいく必要があります。

社会奉仕活動については積極的に市で実施する事業や防犯活動への参加、自主的な防犯パトロールの実施、公共施設の剪定除草等を実施してまいりました。

一方、会員の健康管理と安全就業は、シルバー人材センター事業運営の大きな柱であると同時に就業に携わる会員の大きな要素であることから、恒例の健康ハイキングを開催し、安全面では安全管理委員会の定例開催の他、安全管理委員による各就業場所への安全視察、各安全対策推進員への安全対策研修の実施、刈払機の自主研修の実施等事故の減少はもとより、グループ全体として重篤事故を発生させないよう一層の安全対策を行ってきました。

また、警察と連携し高齢者運転実技講習会への参加や節目で実施する研修時に、会員の健康維持・身体機能低下防止に対する啓発を行い、健康に対する意識高揚・浸透に努めました。

経営面においても収支相償となるよう、健全な財政運営に向け役職員を中心として会員一同一丸となり、平成28年度に策定した中期基本計画に沿って地域における公益社団法人たるシルバー人材センターの認識の浸透をはかるべく鋭意努力してまいりました。

1. 基本方針の取組み結果

- (1) センターの目的・主旨の普及啓発に努めると共に、公益性の向上を図った。
- (2) 高齢者の就業に関して、公共・民間等の関係機関及び団体の情報を収集・調査研究し、センター事業運営の活用にあつめた。
- (3) 高齢者に適した就業開拓を推進し、就業拡大を図った。
- (4) 健康で働く意欲のある会員の増強に努めると共に就業相談を実施した。
- (5) 会員の就業に関する知識、技能、マナー等の向上を図った。
- (6) 女性会員の積極的な活動を推進するとともに、会員増強・組織強化・就業向上に努めた。
- (7) 会員の安全就業の推進と健康管理意識の向上を図った。
- (8) 会員や理事等役員主導を徹底し、組織強化を図った。
- (9) 社会奉仕活動等を充実し、社会参加の推進に努めた。
- (10) 多様な就業機会の拡大を目的とした「シルバー派遣事業」を検討した。

2. 基本方針に基づき次の事業を実施した。

(1) 事業実績

項目	28年度目標	28年度実績	28年度目標比	前年比
受託件数	2,920件	2,756件	164件減	130件減
就業延日人員	72,000日人	70,380日人	1,620日人減	2,264日人減
契約金額	290,000千円	294,375千円	1.5%増	2.5%減
年間就業率	97%	101.5%	4.5%増	2.0%増

(2) 就業体制の確立

新規事業の発掘・開発・継続事業の拡大

- ・会員の経験、能力を発掘し独自事業の充実を図ると共に、継続事業の積極的拡大を行った。

(3) 就業環境の整備

希望職種の見直しと就業体制の整備を図った。

- ・会員の就業体制を充実させるため、仕事別グループ70グループを希望職種6、公共・民間13、自主的・主体的8に分けて実施し、運営と研修の充実を図った。

(4) 就業の公平・平等化

- ・就業機会の均等を図るため、ワークシェアリングを推進した。
- ・希望職種の募集を機関紙に掲載し公募制にて実施することで、会員の選択により就業先を申し込みできるようにした。

(5) 仕事別グループの運営と体制の充実

- ・仕事別グループの円滑運営のため、リーダー、サブリーダー、安全対策推進員を置き、役割を徹底した。
- ・就業の実態や発注者、センターの意向を伝達するため、必要の都度、グループ会議を開催し、グループ体制の充実・意思の統一を図った。また、11月にはグループ・リーダー研修を実施し、安全就業の啓発・接遇の向上を図った。また、適正就業の説明を行い、理解・浸透を図った。

1) 仕事別グループリーダー研修

11月29日 安全就業啓発・接遇・適正就業について 53名

3. 安全対策

会員の健康と安全就業は、シルバー人材センター運営の大きな柱であり、特に安全就業については、事故ゼロを目指し、安全管理委員・安全対策推進員並びに安全就業推進員が中心となり、次の安全対策を講じた。

1) 会議及び研修

①安全管理委員会 年6回 (4/14・6/8・8/17・10/4・12/5・2/14)

②安全対策推進員研修 7月27日 61名

2) 安全視察

4月から3月にかけて、20回市内各就業場所について視察及び指導を行った。

3) 事故の発生状況

傷害事故 4件 賠償事故 2件 計 6件

4) 健康ハイキング 12月 6日 20名参加

5)刈払機講習会	4月22日(環境美化)	22名参加
	2月3日(植木)	13名参加
	1月24日(草刈)	15名参加

4. 会員増強と資質の向上

(1) 会員増強・相談

① 会員増強対策

- ・会員募集のパンフレットを市内の公民館など公共施設に配置した。
- ・市内4カ所に看板を設置し、広報活動・PRを行った。
- ・市内全域新聞購読世帯約15,800世帯に新聞折込をし、市民にセンターの意識付けを行い、入会を促した。
- ・会員が自主的に知人や市民に呼びかける等、入会の促進を図った。
- ・市内での行事に際し、積極的に参加し、センター入会へのPRを行った。
- ・市内循環バス全車両の車内にポスターを2カ所掲示し、入会促進を図った。
- ・センターPRのグッズを作り広く市民等に行事の際に限らず、随時配付し入会等のPRを行った。

② 入会希望者の対応

区分	実施内容	実施回数	実施人員
入会説明会と面接	毎月1回、定例の入会説明会と面接を開催し、市内の高齢者にセンター事業概要と理念を説明し入会促進を図った。	説明会12回	131名
		面接12回	94名

③ 就業に関する相談

区分	実施内容	実施日
会員相談日の実施	会員の就業に関する相談他	毎週原則月・木 延べ 92日
		会長・もしくは副会長。 その他理事・職員が対応

(2) 技能及び教養研修

センター理念の浸透と就業拡大のため、会員に対する技能知識の習得を目的とした下表の研修等の実施と参加を図った。

区分	研修内容	実施日	参加人員
独自の研修 (技能・安全)	○植木(公共施設)	3/3	16名
	○安全対策推進員研修	7/21	61名
	○仕事別グループリーダー研修	11/29	53名
	○刈払機講習	4/22, 1/24, 2/3	50名

多摩中央警察署	○高齢者運転実技講習	4/10, 9/22	延 18 名
東京しごと財団	○監事研修	4/12	2 名
	○植木剪定安全就業研修	4/8	3 名
	○シルバー人材センターフォーラム	11/11	1 名
	○経営管理研修	1/20	2 名
第七ブロック シルバー人材 センター	○事故未然防止ポイント 講習会(連合主催)	7/29	10 名
	○「ハウスクリーニング」	5/31	3 名
	○「認知症サポーター養成 講座」	10/27	3 名
独自の研修 (教養)	○在籍会員理念再研修(3年)	※1 別記	42 名
	○在籍会員理念再研修(6年)	※2 別記	37 名
	○「認知症サポーター養成 講座」	※3 別記	25 名

※1 在籍会員理念再研修（リフレッシュ研修）

入会満3年の会員を対象にセンターの運営形態及び理念の再研修を行い、浸透を図った。

- ①実施期間 延べ2回実施 11月25日 11月30日
- ②対 象 入会満3年の会員（平成25年4月1日～平成26年3月31日）
及び前回までの未受講者 67名
- ③受講者数 延べ42名
- ④実施内容 安全ビデオ鑑賞をし、事故防止意識を高めた。またマナー意識についてグループディスカッションを行い、接遇マナーの向上を促した。

※2 在籍会員理念再研修（6年）

- ①実施時期 1回 1月26日
- ②対 象 入会満6年目の会員（平成22年4月1日～平成23年3月31日）
66名
- ③受 講 者 37名
- ④実施内容 会員の日常の健康管理について保健師を招き、講習を実施した。
また、健康体操（レインボー体操）のビデオを使用し、実際に体操をすることにより健康維持管理の意識を高めた。

※3 認知症サポーター養成講座

- ①実施時期 1回 11月24日
- ②対 象 会員（30名募集）
- ③受 講 者 25名
- ④実施内容 高齢者同士の横のつながりや、地域の連絡体制意識をより高めるため、認知症支援コーディネーターを招き、認知症サポーター養成講

座を実施し、地域活動への参加の一助とした。

(3) 会員に適した就業提供

会員により良い就業提供を確保すると共に、発注者に対するセンターの信頼をより高めるために、就業会員の人選については事業部と事務局で共同推進を図った。

(4) 適正就業の推進

東京しごと財団からのガイドラインに沿って、契約内容の見直しを図り、直接雇用への切り換えを行い、就業の適正化を進めた。また、新規受注に際しても発注者に適正就業の内容を説明し、理解を図った。

5. 就業に関する情報収集と提供

(1) 事業にかかわる仕事の開拓及び提供

機会ある毎にセンター理念に基づき関係機関に就業提供を要請していくと共に、会報「シルバーいなぎ」に就業情報を掲示した。

6. 普及啓発、調査研究及び地域社会との連携

(1) 事業の市民各層への理解と浸透、地域への定着を図るべく、次の普及活動を実施した。

区 分	実 施 内 容	実施状況	備 考
会報の発行	会報「シルバーいなぎ」を発行し、全会員に配布して、事業に係る情報提供と会員相互の交流に役立てた。	年4回	毎回 700部
事業内容案内チラシの配置	公共施設利用の市民に広くPRする為パンフレットラックを設置し、仕事内容を紹介するチラシを配置した。	随時	6ヶ所
ホームページの更新	会員増強や事業内容のPRをする為、ホームページを随時更新し、新しい情報を発信するよう努めた。	随時	
市広報紙等の活用	市の広報紙「いなぎ」に、センターの活動や会員募集記事を定期的に掲載し、市民に広く事業PRを行った。また、社会福祉協議会発行の機関紙に広告を掲載し、センターのPRを行った。	随時	
市内循環バスの活用	市内循環バス（iバス）車内広告スペースにポスターを掲載しセンターPRや入会を促した。	通年	市内循環バス7台
新聞折込の活用	市内全域新聞購読世帯を対象に折込チラシを配布しセンター事業の紹介や入会促進を行った。	3月	概ね 15800 世帯対象
就業中のPR	屋外作業者にシルバー人材センターのネーム入りジャンパー及びベストを貸与しセンターの知名度の拡充に努めた。	随時	

(2) 調査研究

事業推進に必要な会員対象及び発注者への調査を実施した。

- ① 在籍会員状況調査 実施期間 5月 対象者数 574名

- ② 未就業会員状況調査 実施期間 2月 対象者数 49名 回答 16件

- ③ 顧客満足度調査 実施期間 9月 対象者数 94件 回答 50件

(3) 地域社会との連携

① 公共施設等へのボランティア参加

- 実施日 6月14日 振興プラザ周り 駐車場除草 16名
- 10月11日 振興プラザ周り 駐車場除草 14名
- 3月 3日 福祉センター・振興プラザ植木剪定 16名

② 防犯活動

- ・市役所の防犯パトロールカーを使用し、概ね月1回のペースで会員複数名にて、市内各所を巡回し、防犯活動を実施した。
- ・市内一斉防犯パトロールへの参加（7/20・69名、12/21・75名）

7. 会議・組織活動

センター事業の効果的推進のため、次の会議を開催した。

① 定時総会

会議名	開催日	内容
平成28年 定時総会 出席 156名 委任状 303名 議決権行使者 0名	H28.06.16	議決事項 ○平成27年度収支決算承認について 報告事項 ○平成27年度事業報告について ○平成28年度事業計画及び収支予算について

② 理事会

会議名	開催日	内容
第1回理事会	H28.04.25	○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 ・新入会員の承認 ○議決事項 ・継続雇用実施要綱の一部改正 ○その他 ・平成28年定時総会役割分担について ・地域振興プラザ周り除草ボランティアについて ・労働時間（週20時間）の緩和について
第2回理事会	H28.05.09	○事業報告 ○議決事項 ・平成27年度収支決算の承認 ・平成28年定時総会提出議案 ・平成28年定時総会時における被表彰者

		<ul style="list-style-type: none"> ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー派遣事業 (会員向け及び事業所向けチラシ) ・定時総会被表彰者記念品について
第3回理事会	H28. 06. 23	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 (専決処分) ・新入会員の承認 ・職員の勤勉手当に関する基準の一部改正 (専決処分) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・定時総会の結果、反省等
第4回理事会	H28. 07. 25	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・継続雇用実施要綱の一部改正
第5回理事会	H28. 08. 30	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 (専決処分) ・稲城市への要望書 (案) ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度未収金の処理 ・基本計画実施推進本部設置規程の一部改正 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・市民祭及び平尾まつり担当理事 ・平成28年度年間予定表 (下半期)
第6回理事会	H28. 09. 26	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程の一部改正 ・平成28年度収支予算補正第1号 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・市長への要望書の提出とその結果 ・地域振興プラザ廻り除草ボランティアについて
第7回理事会	H28. 10. 24	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告

		<ul style="list-style-type: none"> ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・適正就業 ・職員採用募集 ・市民まっりの反省点
第 8 回理事会	H28. 11. 21	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程の一部改正 ・職員の勤勉手当に関する基準の一部改正 ・継続雇用実施要綱の一部改正
第 9 回理事会	H28. 12. 22	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則の一部改正 ・育児・介護休業等に関する規程の一部改正 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・第七ブロック会長会議資料
第 10 回理事会	H29. 01. 23	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 8 年度稲城市シルバー人材センター 予算編成方針(案) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・会員募集広告の新聞折込の実施 ・顧客満足度調査集計
第 11 回理事会	H29. 02. 21	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ・役員賠償責任保険の継続加入 ○議決事項

		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業計画（案） ・平成29年度収支予算(案) ・平成29年度資金調達及び設備投資の見込み ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・東京都生活文化局都民生活部管理法人課の立入検査結果 ・理事が担当する地区会へ出席した場合における費用弁償 ・稲城市高齢者見守りネットワーク事業
第12回理事会	H29.03.27	<ul style="list-style-type: none"> ○事業報告 ○部会報告 ○委員会報告 ○承認事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員の承認 ・理事・監事選考特別委員会の委嘱 ・受託事業未入金処理 ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程の一部改正 ・重要な使用人の選任及び解任 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川清掃

③専門部会

- (ア) 総務部会 6回
- (イ) 事業部会 8回

④基本計画実施部会 6回

⑤地区長会議 3回

⑥地区会・地区班長会

地区会	45回	参加人員	延べ	964人
地区班長会	45回	参加人員	延べ	221人

⑦広報委員会 12回

⑧安全管理委員会 6回

⑨女性就業推進委員会 6回

⑩仕事別グループ会議 随時

8. 基本計画の策定

- ・平成32年までの中期基本計画を策定し、会員全員に冊子を作り配付した。

9. センター運営体制の充実

- ・シルバー保険の一部負担額を継続した。また、支出の削減に努め、事務処理の効率的な運営に努めた。
- ・労働者派遣のための事業所を開設し、派遣事業実施に向けて事業部会役員を中心とし、市内事業所を訪問し派遣事業の理解・浸透を図ったが新規契約には結びつかなかった。しかしながら、契約取得のため継続して調査・研究・訪問を行っていくこととした。